

ASEAN 大使通信

第 24 回 ASEAN における日本の強みは何か

2024 年（令和 6 年）11 月 29 日



第 50 回日本・ASEAN 経営者会議
（2024 年 11 月 7 日、於バンコク、経済同友会提供）

10 月の ASEAN 関連首脳会議を終えた後、11 月は引き続き様々な行事に出席しながら、この一年を総括し、来年に向けての準備を始める時期となりました。

11 月上旬にはバンコクで第 50 回日本・ASEAN 経営者会議に出席し、サイバーセキュリティと高齢者対策の ASEAN センターも視察しました。中旬にはジャカルタで ASEAN ブルーエコノミー・イノベーション・プロジェクト受賞 60 企業・団体の報告会を開催し、下旬には東南アジア青年の船のジャカルタ寄港歓迎夕食会に出席し、JETRO セミナーでの講演も行いました。

一連の行事で議論に上り、私自身考えさせられた課題は、ASEAN における日本の強みは何か、日本は何で勝負すべきかということです。今回の大使通信では、この課題を中心に、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。



第 50 回日本・ASEAN 経営者会議夕食会
(2024 年 11 月 7 日、於バンコク)

●第 50 回日本・ASEAN 経営者会議

11 月 6 日から 8 日までバンコクに出張して、[第 50 回日本・ASEAN 経営者会議](#)に出席しました。1974 年から経済同友会と ASEAN 各国のカウンターパートが毎年共催してきたもので、本年で 50 回目を迎えました。

今回の会議では、「経済価値共創」というビジョンを踏まえ、「持続可能な未来に向けた強靱なパートナーシップの構築」をテーマに、食料安全保障、持続可能な観光、モビリティ、人材育成という[4つの共通課題](#)に焦点を当てて、250 名超の各国企業経営者が参加して議論を深めました。

私は日 ASEAN 人材育成・活用・還流プラットフォームのセッションに登壇しました。世界の成長センターの ASEAN を舞台に、地球規模課題（global issues）への現地の解決策（local solutions）を生み出すためには、日 ASEAN の人材が協働する組織と文化を広げていくことが不可欠です。このための経済同友会のイニシアティブに今般 ERIA が参画し、関係者の議論が大きく進展しました。来年の東京会議でパイロット事業の成果が発表されることを期待しています。



日 ASEAN サイバーセキュリティ能力構築センター（AJCCBC）訪問
（2024 年 11 月 8 日、於バンコク）

●ASEAN センターを通じた協力

バンコク出張の機会に、[ASEAN 活動的高齢化イノベーションセンター（ACAI）](#)、[日 ASEAN サイバーセキュリティ能力構築センター（AJCCBC）](#) を訪問して、活動状況や日本への期待についてお話を伺いました。いずれも日本の強みが大いに生きる分野です。

高齢化対策を担う ACAI は、2019 年の設立直後に新型コロナが発生したため、本格的に活動を開始したのはごく最近で、数ヶ月前に専任の所長が着任し、予算の拠出や事業計画の承認を受けたばかりのことでした。日本の経験や制度を ASEAN で今後どのように活用していくか、意見交換を行いました。

サイバーセキュリティを担う AJCCBC は、2018 年に活動を開始し、今はタイの国家サイバーセキュリティ局（NCSA）と JICA の共同運営が軌道に乗っています。ASEAN 各国政府担当部局関係者の対面研修は、技能の習得のみならず人的関係の構築や政策対話の基盤としても大いに貢献しているとのことでした。



ASEAN ブルーエコノミー・イノベーション・プロジェクト報告会
(2024 年 11 月 18 日、於 ASEAN 本部事務局、UNDP 提供)

●ASEAN ブルーエコノミー・イノベーション・プロジェクト報告会

11 月 18 日、ASEAN 本部事務局に ASEAN 各国常駐代表とパートナー国代表を招いて、当代表部と UNDP の共催で [ASEAN ブルーエコノミー・イノベーション・プロジェクト](#) の受賞企業・団体報告会を開催しました。

このプロジェクトは、ASEAN と東ティモールの 11 カ国でブルーエコノミー関連イノベーション事業を公募し、最優秀の 60 企業・団体を選考して資金・インキュベーション支援を行うとともに、日本企業を含む民間部門とのマッチングを行うものです。今回、[10 月の ASEAN 関連首脳会議の機会に選考・発表した全 60 企業・団体の事業内容](#)を紹介するとともに、来年 2 月に開催予定の民間部門とのマッチング行事の準備状況について報告しました。

国毎に 4 ～ 8 企業・団体のイノベーション事業が次々と [動画で紹介](#)され、ASEAN におけるブルーエコノミーの大きな潜在性を感じました。イノベーションは、単にアイデアを提案するのみならず、実際に社会実装してスケールアップを目指すことが鍵です。各企業・団体は、今後各 4 万米ドルの資金とインキュベーションの支援を経て、当地で広く民間セクターに紹介されます。今回の ASEAN・UNDP・日本の連携事業が、ASEAN のみならずインド太平洋地域や世界で大きく花開くことを期待しています。



東南アジア青年の船歓迎夕食会
(2024 年 11 月 21 日、於ジャカルタ市内)

●東南アジア青年の船

11 月 21 日～25 日、東南アジア青年の船がジャカルタに寄港しました。[「東南アジア青年の船」事業](#)は、1974 年に ASEAN 各国と日本国との共同声明に基づいて始められた事業で、今年で 50 周年、48 回目を迎えます。[今年](#)は ASEAN から各国 15 名、日本から 20 名、東ティモールからオブザーバーとして 3 名の計約 160 名の青年が参加し、1 ヶ月間でホーチミンとジャカルタに寄港しました。

私はジャカルタ到着初日の[歓迎夕食会](#)に出席しました。前半の歓迎挨拶、贈呈品交換式のあと、後半は各国 3 分間のパフォーマンスでした。夕食会の開始時は各国毎にお揃いの制服で参加していましたが、パフォーマンス前に全員がそれぞれの民族衣装に着替えて、素人の域を超える各国の文化紹介の芸を披露していました。最後は全員参加で踊り、大変盛り上がりました。参加者は週末にはホームステイも行い現地で有意義な時間を過ごしたとのことでした。

船中では、日中は英語でテーマ別の議論を行い、夜は各国毎に 75 分間のパフォーマンスを行います。各国参加者の一体感を育むこのような交流の継続と発展が、日 AESAN 間の相互理解と信頼の基盤になっていると感じました。



JETRO インドネシア事務所主催・ASEAN セミナー
(2024 年 11 月 22 日、於国際交流基金ジャカルタ日本文化センター)

●JETRO 主催 ASEAN セミナー

11 月 22 日、JETRO インドネシア事務所主催の ASEAN セミナーで講演する機会をいただきました。会場の国際交流基金ジャカルタ日本文化センターで約 60 名、オンラインで約 300 名が出席する大行事です。テーマは『日本と ASEAN－信頼の歴史、共に創る未来－』で、日 ASEAN 友好協力 50 周年の昨年からの進展を振り返り、新たな方向性を共有する場となりました。

講演では、日 ASEAN の歴史、現在地、未来という大きな枠組みの下で、ASEAN の最新動向、主要な日 ASEAN 協力イニシアティブ、そして当地での私自身の経験や感想を交えて説明しました。[講演資料はウェブサイトに掲載](#)しましたので、よろしければご覧ください。

席上、これから日本企業が ASEAN で更に活躍するための強み（比較優位）は何か、という質問を受けました。日本は、これまで半世紀にわたる ASEAN 諸国での製造業での成功体験に続いて、今度は日本の「課題解決先進国」としての技術と経験を、成長する ASEAN で分野横断的に生かすことで、ともに飛躍できるのではないかと感じています。私自身、官民連携の取組を通じて、様々な機会を多くの皆様に提供できるように努めていきたいと思っています。



サラ・マレーシア ASEAN 常駐代表との昼食会
(2024 年 11 月 20 日、於大使公邸)

●マレーシア ASEAN 議長国年に向けて

来年（2025 年）の ASEAN 議長国はマレーシアです。11 月 20 日、サラ・マレーシア ASEAN 常駐代表を公邸に招いて、マレーシアの ASEAN 議長国としての優先課題や準備状況について説明を受け、日 ASEAN 協力や議長国支援の方向性について意見交換を行いました。

来年の ASEAN のテーマは「包摂性と持続可能性」です。10 月 22 日の[ロゴ・テーマ発表式典](#)で[モハメド・ハサン・マレーシア外務大臣が表明](#)したとおり、優先分野として、① ASEAN 中心性の強化、②域内貿易・投資と科学技術イノベーション、③包摂性と持続可能性（格差縮小、生活水準向上、気候変動の影響緩和）を掲げ、ASEAN 共同体ビジョン 2045 を採択予定です。

ASEAN 議長国のリーダーシップを後押しする形で、日本の強みを最大限に生かしつつ、日 ASEAN 協力を具体化して成果につなげていくことが今後の課題です。来年に向けて、皆さんと一緒に、幅広い分野での ASEAN 協力を更に前に進めていければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

ASEAN 代表部大使
紀谷昌彦